

香月千エミ 議員



三日月町

### 中学校建設場所 か 安全性は大丈夫

**問** 小城中学校は現在地において全面改築の予定で計画が進んで

いるが、現在地での建設の利点、決め手は何か。

### 答

(市長)

古くからの歴史的、文教的エリアであり、中心的な便利な場所である。北側グラウンド・南側校舎案は住民の理解が得られず、北側校舎・南側グラウンドの場合、プレハブが必要、南側敷地拡張という判断をした。

**問** この場合学校敷地内に二本の公道が

通り騒音問題も含め大変危険でリスクを呼び込む要因となり問題である。道路横断時の安全が確保されていない。

### 答

(市長)

県道（小城・富士線）拡張に伴う対策としては十分な歩道が整備される（四mの歩道が両側につく）し、歩道橋の設置について県に要望して

いる。

### 問

かなりの時間と労力、費用をかけて論議された、地域開放型学校づくりが目指したものの、町民の思いが、今回の建設計画の中に活かされていないのではないか。

### 答

(市長)

学校での事件等が多く出てきて、危機管理に対応したセキュリティの確立という問題にも直

面し当初の計画を修正し、子どもたちの学校教育を基本におくという原点に戻った。

### 問

周辺町からの通学区域を配慮しているか。

### 答

(市長)

現在一学年六クラスだが、生徒増に対して十分対応できる。

## 小城中学校 建築予算承認される

待ちにまつた建設へ

建設場所を含め、安全性の確保の問題等で大いに議論のあった小城中改築事業については、今年度分約七億八千九百万円の予算が議会で承認され

いよいよ建設工事が始まります。

県道小城・富士線の道

路拡幅に伴う中学校敷地狭小の問題は、周辺用地の確保によって解決し、中学校の長い歴史の中で教育環境、通学距離等が最適であるとして現在地が選ばれました。

学校施設の一部開放ゾーンとして、北棟の中の音楽室、美術室、アリーナ、ランチルームな

どが地域の住民の活用に対応できるものと考えられています。

北側県道の安全性については、十分な歩道整備と共に歩道橋の設置について要望、配慮されます。（今年度約六億二千九百万円、総事業費約三十四億六千万円）



## 三日月小学校 増改築工事、決まる

児童数一〇〇六名

今や県下一、二のマンモス小学校となった三日月小学校。プレハブ教室で対応してきた同校の増改築費が議会で承認されました。現在の南校舎が取り壊され、北校舎と体育館の西側にコの字形、三階建の校舎が建設される予定です。普通、特別教室の確保、運動場の拡張等が見込まれ、今年度の事業費は約四億五千五

百万円です。（総事業費約十一億五千七百万円）



◀たくましく育てて!!